

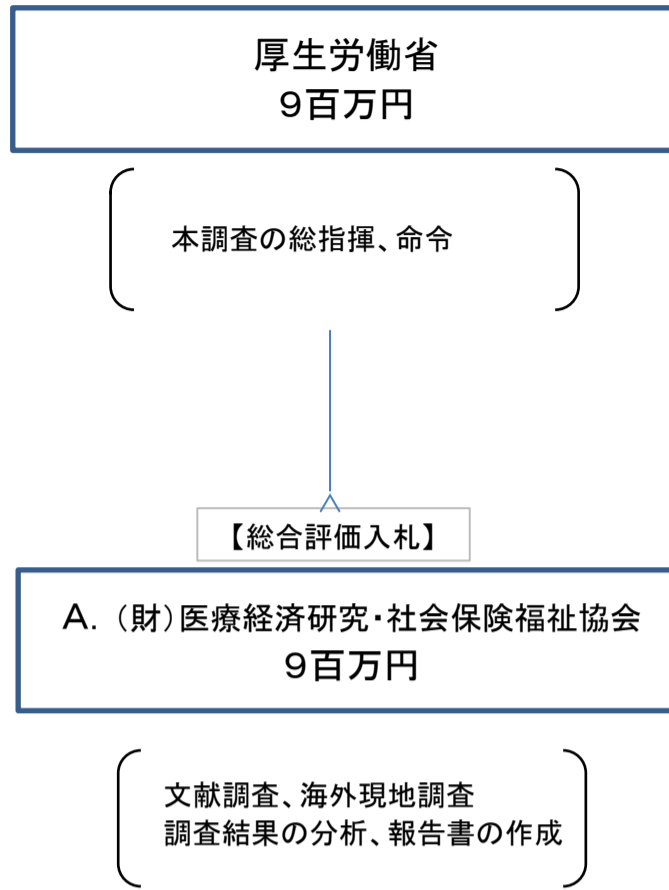
平成23年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	診療内容及び薬剤使用状況調査費	担当部局庁	保険局	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	—	担当課室	医療課	鈴木 康裕			
会計区分	一般会計	施策名	IV-2-1 全国民に必要な医療を保障できるよう、高齢者医療制度改革を含め、医療保険制度を安定的・効率的に運営するために取り組む				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	健康保険法(大正14年法律第70号)第76条、第77条	関係する計画、通知等	「経済財政改革の基本方針2008」平成20年6月閣議決定 「経済財政改革の基本方針2009」平成21年6月閣議決定 「革新的医薬品・医療機器創出のための5か年戦略」平成19年4月内閣府、文部科学省、厚生労働省、経済産業省 「社会保障制度改革の方向性と具体策」平成23年5月 厚生労働省				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	政府決定等において、薬価制度上の革新的医薬品の適切な評価や後発医薬品の使用促進が重要課題として挙げられていることから、これらの施策の推進を図る必要があり、諸外国の医薬品に係る制度改革の実態・取り組みを把握し、我が国の今後の薬剤使用の一層の適正化に向けた価格システム、薬局・薬剤師の役割、その評価のあり方等の検討・考察を行うとともに、後発医薬品使用促進にかかる検討を的確に行うための基礎資料を収集する。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	医薬品の価格決定システムや後発医薬品の使用促進策等、我が国の薬剤給付のあり方の検討に必要な調査項目について、文献調査を行うとともに、欧米4か国に調査団を派遣し、各国の薬局、薬剤師会、保険担当部門、医療機関、製薬団体等を訪問し、実地調査を行う。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
	予算の状況	当初予算	13	11	9	9	9
		補正予算					
		繰越し等					
		計	13	11	9	9	9
		執行額	12	10	9		
	執行率(%)	94.2	90.6	98.1			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値(年度)
	本調査は、我が国の薬価制度、薬局・薬剤師における診療報酬上の評価、後発医薬品使用促進に係る施策等の検討を行うために必要な基礎資料の収集を目的としており、定量的な指標を示すことは困難である。	成果実績			—	—	—
		達成度	%	—	—	—	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	学識経験者からなる委員会を設置し、調査研究全体の進め方や、欧米4か国の現地調査における調査項目、調査票案の検討等を行い、2月に現地調査を実施し、得た情報を基に分析を行い報告書にまとめた。	活動実績 (当初見込み)			—	—	—
				—	—	—	—
単位当たりコスト	— (円/)	算出根拠		—			
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
	薬剤使用状況等に関する調査に係る経費	5	5				
	欧米諸国における後発医薬品使用状況調査に係る経費	4	4				
	計	9	9				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	—	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	執行額については、総合評価落札方式による入札の結果であり、特段の問題はないと判断。		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	事業の必要性が認められるため、引き続き事業内容及び予算規模を維持すべきである。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
—			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
—			

※平成22年度実績を記入



資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

A.(財)医療経済研究・社会保険福祉協会			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
旅費	海外現地調査旅費(4か国×2人)	5			
役務費	文献翻訳、通訳料	2			
謝金	報告書執筆者金(計6人)	1			
その他	会議費、通信費	1			
計		9	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロッ
 クごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

支出先上位10者リスト

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(財)医療経済研究・社会 保険福祉協会	文献調査、海外現地調査、調査結果の分析、報告書の作成	9	1	98.10%
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					